

整理番号	25002
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月30日
事業担当課	被爆継承課

《基本情報》

事務事業名	被爆建造物等公開費(被爆遺構等情報発信事業)		<input type="checkbox"/> 新規
			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B1 被爆の実相を継承します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	多くの人々が	被爆の実相の継承を進めている。	
個別施策	B1-1 平和・原爆関連施設の整備及び被爆資料・被爆遺構の保存・活用を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	平和・原爆関連施設、被爆資料・被爆遺構が	適切に保存・整備され、被爆の実相が効果的に伝わるよう公開されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	被爆遺構等について、爆心地や平和祈念像については、多くの観光客が足を運んでいるが、それ以外は、十分に見学されているとは言い難い。今回、整備を行っているQRコードを活用した被爆遺構マップで他の遺構等の存在を知ってもらう事にくわえ、興味を引く動機付けも必要となる。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	観光客に爆心地や平和祈念像以外の被爆遺構等に足を運んでもらうことで、被爆の実相をより深めてもらいたい。
課題(どういことをする必要のあるのか)	観光客の被爆遺構への興味付けと周遊のためのインセンティブを増加させるため、現地での利用を前提とした各遺構の特色に合わせたデジタルコンテンツを作成する必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>被爆建造物等についてAR等を用いて追加コンテンツを提供するものであり、まず代表格である長崎原爆遺跡について、起点である爆心地及び山王神社二の鳥居にAR(拡張現実)を用いたコンテンツ制作を行う。なお、ARはアプリインストールの敷居を除くため、WEB AR(QRコードにアクセスすることで起動)を候補とする。</p> <p>爆心地は、原爆落下中心地碑において、端末の動きに連動させた被爆後のパノラマ写真を解説音声付きで展開する。山王神社二の鳥居においては、一本柱に破壊され水平方向に12度傾く様子をアニメーション(CG)で表現する。</p> <p>旧城山国民学校校舎においては、非公開である3階以上と屋上からの景観までを含めた、グーグルストリートビュー(インドアビュー)を導入することで、3階以上の非公開部分の見学、及び屋上からの展望で爆心地と現在地(旧城山国民学校校舎)の位置関係が実感できるようにする。</p> <p>【事業期間】令和4年度  【対象】長崎原爆遺跡(爆心地、山王神社二の鳥居、旧城山国民学校校舎)  【総事業費】5,622千円  【事業費内訳】令和4年度 ・ARコンテンツ制作委託: 4,852千円  (翌年度以降の維持費の見込み315千円)  ・旧城山国民学校校舎館内ストリートビュー制作委託: 770千円</p> <p style="text-align: right;">計: 5,622千円</p>
<p>業務量の増減</p>	<p>77.5時間の増  (契約事務5日、企画・資料調査等20日、検査・修正3日: 計217h) R4 217h - R3 139.5h = 77.5h</p>

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働					
		多くの観光客や修学旅行生が被爆の実相を学ぶため訪れる被爆建造物等であり、デジタル技術の活用により、被爆の実相をさらに深めてもらう。					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度 )					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	5,622					5,622
	総額	5,622					5,622
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	整備件数					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	3	2	-	-	-	
	成果指標及び目標値の説明	本件は保存されている被爆建造物等へデジタル技術を用いて追加コンテンツを提供するものであり、各遺構(とりわけ長崎原爆遺跡)への整備件数を数値目標とした。					

## 評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>被爆建造物等へ訪れる観光客等にAR等を用いたコンテンツを提供するものである。</p> <p>被爆遺構への興味付けを行うことや、周遊のためのインセンティブを増加させることは、被爆遺構へ足を運んでもらい、被爆の実相をより深めてもらうことにつながることから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【事業実施に対する意見】</p> <p>・遺構を周遊してもらえ工夫についても検討すること。</p>	